



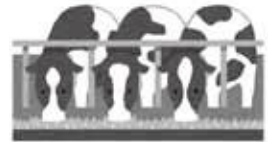
改革21

質問者

ふじいよしあき
藤井義明議員

所属議員

くらもとたかふみ
藏本隆文議員



干拓の牛ふんの臭い 抜本的な解決を？

議員 市民は干拓の牛ふんの臭いに困っている。牛が増え続ける状況の中、法的規制だけでは解決できないと考える。抜本的対策のため、国・県・有識者・畜産業者・市民等を含めた合意形成の場である協議会を設置すべきと考えるが、

の範囲内の数値となっている。

市長 営農活動に起因する問題は、農家が主体的に解決する課題であるとの認識を持っていただくよう訴えてきた。平成29年1月には畜産農家と関係機関を含めた連携組織で畜産環境クラスター協議会を立ち上げている。

議員 法律を守っていても臭いはある。臭いの問題が畜産農家の責任でないとすると、市が牛ふんの臭いを抜本的に解決するため、農家だけでなく国や県へ意見を言う協議会を作り、進めるべきと考えるが、

市長 農家が、発生源を確保し、基本動作を徹底することで、臭いを減らせると考える。その上で、新たな対策を協議会等で検討する。

副市長 近い将来には1万頭になるといふ話がある。そうなると、抜本的な改革も必要になると思う。

議員 笠岡市民が願っていることである。ぜひ考えていただきたい、

産業部長 年1回の検査では法律のかたずねる。



公明党

質問者

さいとうかずのぶ
齋藤一信議員

所属議員

おおもとくにみつ
大本邦光議員



人工内耳体外機購入及びイヤモールド作成に助成を！

議員 人工内耳とは、体外に装着した音声信号処理装置が、音声を電気信号に変え、側頭部に埋め込んだ受信機に信号を送ることで聴覚神経を刺激し、音声を伝えるもの。人工内耳の埋め込み手術は、健康保険の適用対象だが、電池の交換などは保険適用外のため、全て装用者の自己負担である。人工内耳装用者は、装用継続のために、定期的な体外装置の買い替えや修理、また、消耗品及び空気亜鉛電池または専用充電池等、多額な経済的負担が必要で、イヤモールドは成長に合わせてつくりかえる必要がある。特に就学前の人工内耳装用児にとっては、その費用負担も大きい。補聴器は公費の補助があるが、人工内耳はその対象にならない。このたび、笠岡市は手話言語条例制定の運びとなっているが、

聴覚障がい児・者を救う大きな前進を具体的な施策を持って行っていただきたい。同補助事業の一日も早い創設を要望する。全ての聴覚障がい者にとって、さらに住みやすい町になるよう、以上のような状況を勘案いただいた上で、人工内耳装用者への助成の仕組みづくりについての市長のお考えをおたずねしたい。

市長 岡山市、倉敷市、井原市では、サウンドプロセッサ用の空気亜鉛電池または専用充電池費用等の助成を実施している。今後、聴覚障がい児・者にとってさらに住みやすい町になるように、人工内耳用外部装置等にかかわる費用の助成について実施している先進自治体の状況を調査しながら、前向きに検討してまいりたい。